

# 国民栄養調査からみた県民の栄養

## ◇調査の目的は

この調査は、国民の栄養改善の方途を講ずる基礎資料として、国民の健康状態、栄養摂取量、栄養摂取と食費との関係等を明らかにするために栄養改善法（法律第二四八号）に基づいて毎年五月調査が行なわれている。

調査の結果は国民の食生活改善、健康増進の基礎資料にするため、また広く食糧政策に利用されることを目的としている。

## ◇調査の対象

この調査は、六市町村二百三十二世帯、世帯人員千二百七十七人を指定して、五月中連続五日間に食べた食物を秤で計量して調査した。食料費は、調査地区内の三軒以上の食品小売店舗の価格を調査し、平均価格を算出し、これに摂取各食品数量を乗じて、食料料費を算出した。

身体状況調査は体重、身長、胸囲、座高、血圧を計測し、栄養失調症候の検診を実施した。

## ◇栄養摂取状況

増加した脂肪摂取量

## ◇熱量を何からとっているか

調査地区別一人一日当り栄養摂取状況は、昭和四十五年を目標とした栄養基準量と比較すると、都市（消費者世帯の多い地区）における摂取量は、熱量九六%、たん白質九九%、脂肪一一三%、糖質八九%、カルシウム七二%、ビタミンA八三%、ビタミンB<sub>1</sub>九二%、ビタミンB<sub>2</sub>八一%、ビタミンC一八九%で、熱量、蛋白質、ビタミンB<sub>1</sub>は目標値に達しているが、特に脂肪は著しく増加している。

農村部（生産者世帯の多い地区）の摂取量を栄養基準量と比較すると、熱量一〇%、たん白質七八%、脂肪一〇〇%、糖質九九%、カルシウム七〇%、ビタミン六八%、ビタミンB<sub>1</sub>八三%、ビタミンB<sub>2</sub>六三%、ビタミンC一八八%で、たん白質や微量栄養素の不足は都市よりもひどく、ビタミンA、B<sub>2</sub>は特に著しい不足を示している。なお一人一日当り食費は、都市では百九十円、農村では百七十三円であった。

## ◇年次別成績

最初に国民栄養調査の行なわれた昭和二十一年は戦後の食糧事情のことも低下していたときであるが、その後次第に向上し、人々の食生活への関心も高まり

## ◇栄養の欠かん

栄養欠かんに起因するとみられる身体症候の有症者率は第五表に示したとおりで、有症者は都市部九・二%、農村部では二七%、各症候ともに都市より農村に多くなっている。特にビタミンB<sub>1</sub>不足に起因するけん反射消失やビタミンA不足による毛孔性角化症が多く現われているのは、農村の食生活の不合理、調理技術の未熟等によるものと推察される。

市、農村ともに基準量よりも多く、油脂類、その他の食品は都市、農村ともに基準量よりも少ない。肉、卵、乳、魚は都市においては基準量より多くとっているが、農村は基準量に達していない。要するに農村はアンバランスである。アメリカの熱量構成とは相違しているが、イタリアの熱量構成にやや似ている。熊本県の農村の食生活は、穀類、いも類が多く、そのしわよせとして、油脂類からの摂取が少なくなっている。

二十七年頃まで目立って上昇してきた。それ以後はあまり変動ない。

蛋白質についても、動物性は都市は三十九年頃より目立って増加してきたが、農村はあまり変化ない。植物性については都市、農村共にほとんど変化ない。

脂肪については、昭和三十五年頃より都市は急上昇し、農村は三十九年頃より上昇している。熱量については、昭和二十二年頃頃から殆んど都市農村共増減が少ない。

栄養失調症候有症者率は、都市では三十八年頃より急に減少して一〇%以下になってきたが、農村では依然として二十三年頃と変化ない。

市部の食生活は次第に向上しているが、低所得者層では脂肪、たん白質、カルシウム、ビタミン類の摂取量が少なく、栄養改善事業の推進が必要である。

農村部は相変わらずアンバランスの食生活であるので、蛋白質、脂肪、カルシウム、ビタミン類の摂取量は少なく、栄養失調症候発現者は二七%に及んでいる。食生活改善事業は農山漁村へき村は特に強力に推進しなければならない。

(医務課)

地区別一人一日当り栄養摂取量表

地区名	数量	熱量	蛋白質		脂肪	糖質	カルシウム	ビタミン				1人1日当り価格
			計	動				A	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	C	
熊本市池田町	1251	2,328	78	29	44	393	484	1,757	1.08	0.98	125	196
〃 健軍町	1267	2,070	69	29	42	344	462	1,398	1.12	0.98	113	184
市平均	1259	2,199	74	29	43	368	473	1,578	1.10	0.98	119	190
山鹿市	1173	2,405	76	22	30	448	501	1,347	1.24	0.94	94	158
上益城郡益城町	1236	2,405	78	25	39	424	487	1,148	1.03	0.76	121	169
八代郡千丁村	1190	2,267	78	31	36	398	452	1,452	0.97	0.76	110	178
農村平均	1213	2,336	78	28	38	411	469	1,300	1.00	0.76	119	173
天草郡松島町	1162	2,150	75	27	34	376	557	1,119	0.87	0.75	97	177
松島町非農家世帯	1270	2,141	81	31	50	366	645	1,474	1.05	0.83	116	194
松島町農家世帯	1122	2,153	72	25	47	379	524	984	0.97	0.72	90	171
基準量	—	2,300	75	30	38	415	666	1,900	1.20	1.20	63	—
全国平均	—	2,206	75	29	46	380	499	1,600	1.03	0.90	118	—

地区別一人一日当り栄養摂取量の基準量に対する率 (%)

地区名	熱量	蛋白質	脂肪	糖質	カルシウム	ビタミン			
						A	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	C
熊本市池田町	101	104	116	95	73	92	89	82	198
〃 健軍町	90	92	111	83	69	74	92	82	179
市平均	96	99	113	89	71	83	92	82	189
山鹿市	105	101	79	108	75	71	103	78	149
上益城郡益城町	105	104	103	102	73	60	86	63	192
八代郡千丁村	99	104	95	96	68	76	81	63	175
農村平均	101	104	100	99	70	68	83	63	188
天草郡松島町	93	80	89	90	84	59	83	62	154